

支え合う介護を目指します

村地域包括支援センターでは、年に数回、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。また、認知症の方を支えるご家族の相談を受け付け、適切な支援に結びつける活動も行っています。また「物忘れかな？大丈夫かな？」というご本人の不安にもお答えします。どうぞ気軽に、まずはお相談ください。

問 飯館村地域包括支援センター
☎0244-42-1626
(地域活性化センターいちばん館内)

介護・福祉に関する相談は

医療・福祉に関する総合的な相談に依る他、介護保険制度のサービスや各種福祉サービスを利用する時の窓口です。

問 健康福祉課福祉係
☎0244-42-1633
(地域活性化センターいちばん館内)

つながりを大切にしていこう

村社会福祉協議会は、生活支援相談員による見守り相談活動や、家族介護支援事業を行っています。サポートセンター「つながっぺ」の運営も行っています。

問 飯館村社会福祉協議会
☎0244-42-1021
(陽だまりの家)

問 サポートセンター「つながっぺ」
☎0244-26-5207
(いいたてクリニックに併設)



飯館村認知症者等 QRコード活用 見守り事業

認知症の高齢者等が保護された時に、早期に身元が判明するQRコードのシールを交付しています。

シールはベルトやバッグ、その他さまざまな素材の持ち物に貼ることができます。スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、連絡先（コールセンター）が表示され、連絡を受けたコールセンターが、関係機関と連携して保護にあたります。

- 〈利用対象〉「認知症者等のうち村内に住所を有する方」を介護する親族や支援者が対象。
- 〈利用料金〉無料です。1シート1,000円（税別）で追加購入することもできます。
- 〈利用手続〉健康福祉課☎0244-42-1633 村地域包括支援センター☎0244-42-1626 または担当ケアマネージャーを通してお申し込みください。約2週間で、交付します。



村では随時「認知症サポーター養成講座」を開いています。認知症の方とその家族をあたたく見守りサポートができるよう、認知症という病気の成り立ちや、認知症の方の行動の特徴、コミュニケーションのコツなどを学びます。

認知症サポーターになりませんか

お風呂に入つてほっとすると、悲しい訳でもないのに、ポロポロ涙が出てくるの。これがストレスなんだろうな...と思います。介護の体験者同士で「心の中の苦しみ」を話せる場所が必要だと思います。

誰もが直面するかも知れない 認知症介護の悩み

自分のことはいつも後回し。腹を立ててしまったり、全部自分に返ってきて...これからますます大変かな、自分もなつてしまったらどうしよう...と心配も尽きません。

私には当たりが強いのに、周りにばかり気を使う母。一緒にいるのが、すごく苦しくなります。かと言って、言い返すとシユンとしてしまうのがかわいそうで、自分が変わらな...と思つています。

自分の家族だから、初めは周りに隠していたんです。でも、それが原因でいろいろ誤解を受けるようになって、話すことにしました。今は「言つていいんだ」と思えるようになりました。

● 認知症サポーター養成講座 支える家族に 地域で寄り添いたい

実際に介護をされている方から「認知症のことをいろいろ学んでも、家の中ではそううまくいかないものです」と言われることがあります。そうですよね。認知症の症状はさまざま、その介護には「正解」がありません。認知症の家族を介護している方は、周りの人にどこまで話したらいいかも悩んでいます。「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに、認知症の人やその家族をあたたく見守り応援する人のこと。飯館村にはもともとそういう支え合いがありますよね。そのやさしさを伝え合つていくことが大切なんだと思います。



講師 宗形初枝 さん
認知症キャラバンメイト
郡山市医療介護病院看護部長